

受領 令和4年12月1日 11時25分

通告番号(3)1/3

令和4年12月1日

読谷村議会
議長 伊波 篤 殿

読谷村議会議員
長 濱 宗 則 印

一般質問通告書

第522回読谷村議会定例会において次の事項の質問をしたいので、会議規則第61条第2項の規定により通告いたします。

質問要旨	答弁を求める者
<p>1 去った520回定例議会の一般質問の答弁で読谷村の前期高齢者65歳から74歳の数4,727人、後期高齢者75歳以上の数は4,323人、合計9,050人でその内、単身高齢者は2,502人で全体の27.6%にあたるとの説明がありました。2025年は高度経済成長を支えてきた世代がピークを迎えさらに単身高齢者が増えると考えられます。対策が急務です</p> <p>(1) 公営住宅は自治体が運営する低所得向けの住宅で、入居に収入要件があり公募が原則ですが、単身高齢者のセーフティネットとしての役割を重視し、保証人規定を見直しするよう国から2度自治体に要請がありましたが、読谷村のこれまでの対応を伺う。</p> <p>(2) 村営住宅に単身高齢者は入居しておりますか。その世帯数は。</p> <p>(3) 保証人規定を入居の要件とする理由はなんですか</p> <p>(4) 単身高齢者は2040年に全国で896万人と見込まれております。読谷村の見込みを把握しておりますか。</p> <p>(5) 持ち家がなく、貯金や年金に乏しい人の対策は検討されていますか。</p>	
<p>2 農福連携から</p> <p>農林水産省が推進する農福連携は障害者等が農業分野で活躍することを通じて、自信や生きがいを持って社会参画を実現していく取り組みですが近年、農業だけでなく様々な産業に分野を広げて、高齢者、生活困窮者、ひきこもりの状態にある者の就労支援、犯罪、非行をした者の立ち直り支援等にも対象を広げ、捉え直すことも重要</p>	

質 問 要 旨	答弁を求める者
<p>とし「農福連携」から「農福連携等」に拡大されております。農業の力は新たな価値を創生します。</p> <p>(1) 読谷村の農福連携等で農業推進課と福祉課の連携の協議は持たれましたか。</p> <p>(2) 農業者と福祉作業所のマッチングを成立した実績はありますか。</p> <p>(3) 読谷村として農福の連携の広がりへの推進と取組を伺う。</p>	
<p>3 ヤングケアラーから</p> <p>厚生労働省によると病気や障害のある家族のために、本来大人が担うと想定される家事や家庭の世話など日常的に行なっている 18 歳未満の子どもを指しております。国が 2020 年度実施した初の実態調査では公立中学校 2 年生の 5.7%、公立高校生 2 年生で 4.1%が世話している家族がいると回答。県は 2021 年、学級担任、スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラーを対象に調査を実施。調査の結果、ヤングケアラーの児童生徒は計 1,088 人、令和 4 年度県少年・子ども家庭課が県内の小学校 5、6 年、中高、高専 1～3 学年の児童生徒 13 万 6,065 人対象を実施された。県は今後 10 年間の教育行政の方針をまとめた「県教育大綱」の素案に支援を明記した</p> <p>(1) 読谷村の 2021 年と 2022 年の調査結果を実態把握しているか。</p> <p>(2) 教育委員会と福祉課との連携は取れているか</p> <p>(3) 今後の支援策について読谷村の取組みを伺う</p>	
<p>4 読谷村の素材を生かした新たな観光の取組から</p> <p>読谷村には文化、芸能、伝統工芸等、自然の良さが村内外に発信され、訪れる観光客も多く認知度も県内では上位に位置しているが新たな誘致企画が乏しいと思う。読谷村をさらに県内、県外へ歌三線の根を発進する企画を努力すべきだと思う。</p> <p>(1) 三線会館を設置し、歌三線の最高レベルの演奏会を創設する。</p>	

質 問 要 旨	答弁を求める者
<p>(2) 読谷村の情景を歌った「残波恋岬」の歌大会や石碑の建立など残波をモチーフした企画を創設できないか。</p> <p>(3) 残波岬灯台を全面的にアピールし観光の目玉にできないか。</p>	
<p>5 読谷村の2019年度村民所得から</p> <p>2019年度の一人当たりの村民所得が紙面で公表されました、県平均(2,410千円)に届かず、中部市町村では最下位の2,202千円です。41市町村32位で、隣の嘉手納町3,653千円、北谷町3,144千円と大きな所得差があります。</p> <p>(1) 市町村の所得は雇用者報酬、企業所得、財産所得を合計人口で割った数値が一人当たりの所得で個人の収入額ではないとし、所得の基準となる読谷村の雇用者報酬、企業所得、財産所得を伺いたい。</p> <p>(2) 読谷村の所得向上のキーポイントの考えは。</p> <p>(3) 村民が豊かになるために地元企業誘致、雇用を拡大すべきでは。</p>	